

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人光仁会富竹の里

目 次

1	法人運営状況の概要	1
2	経営状況の概要	2
3	理事会・評議員会の開催	2
4	寄付金報告	3
5	各事業所の運営状況報告	3
(1)	特別養護老人ホーム 富竹の里、富竹の里ショートステイホーム	3
(2)	特別養護老人ホーム 富竹の里和み	4
(3)	介護付有料老人ホーム 上松ホーム	4
(4)	富竹の里デイサービスセンター	5
(5)	富竹の里ホームヘルプセンター	5
(6)	光仁会富竹の里介護支援センター	6
(7)	長野市地域包括支援センター富竹の里	7

1 法人運営状況の概要

(1) 積極的な情報発信

社会福祉法等の一部を改正する法律（平成28年法律第21号）が平成29年4月1日に施行されたことに伴い、定款、事業報告書、計算書類、現況報告書、役員報酬基準などを法人ホームページに公表し、また法人事務所に据え置き・閲覧することが義務付けられたことから、素早い情報発信ができるようホームページの再構成等の環境整備を行い、公表しました。

(2) 社会福祉充実残額

社会福祉法第55条の2に基づき社会福祉充実残額の算定を行った結果、社会福祉充実残額は生じませんでした。

(3) 新総合事業の充実

平成29年1月10日より通所型基準緩和サービス「いきいきクラブ」を火・金曜日の午前15名定員で開設しましたが、「健康な高齢者は虚弱化しない、虚弱な方は要支援・要介護にならない、要介護になっても悪化しない」という前倒しの視点（フレイル予防）を重視し、総合事業をとおして地域住民の健康増進に寄与するため、サービス提供日（火・水・木・金の午後）を増やしました。

(4) 介護保険制度改正、介護報酬改定、食材料費等改定

今回の制度改正・報酬改定は、6年に一度の診療報酬改定と同じタイミングで行われ、大きな変更となりました。各事業所により、ご利用者への説明と同意の手続きを実施しました。また、給食業務委託業者より、食材料や人件費の高騰の影響で、食材料費等の見直しの申出があり、食材調達方法やメニューの見直しなどの検討を重ねましたが、双方の経営努力だけでは現在の食事を維持していくことは困難となり、食材料費等の改定を行いました。

(5) サービスの質の向上

平成29年度は法人全体で、職員の対応、サービスの内容などで18件の相談・苦情があり、また転倒骨折など15件の介護事故が発生しました。当法人の対応手順によって速やかに解決を行い、ご利用者へ今後の再発防止策等も含めて説明をいたしました。また、富竹の里苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

ご利用いただいているご利用者の満足度向上への取組みの一環として、満足度アンケートを実施し、サービスの充実に努めました。施設、在宅ともに95パーセントの方が満足との回答を得ました。結果については、事業所ごとに一つひとつのご質問に返答する形で取りまとめ、発送いたしました。

法人全職員を対象とした接遇研修の開催、また嘱託医から緊急時対応などの研修を受け、高度で専門的な知識及び技術を学びました。

(6) 特別養護老人ホーム富竹の里多床室プライバシー保護改修・大規模改修工事

開設以来30年間、カーテンで間仕切りした多床室での介護を実施してきましたが、プライバシーの保護を目的に、地域医療介護総合確保基金事業補助制度を活用し、多床室に間仕切りを施工する改修工事を実施しました。また、老朽化した施設内の環境を改善するため、自己財源を用いて廊下、天井、壁紙なども並行して改修しました。

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業の指定更新・実施指導

富竹の里ショートステイホーム、富竹の里デイサービスセンター、富竹の里ホームヘルプセンターが実施する介護予防・日常生活支援総合事業の指定有効期間が平成30年3月31日で満了となることから、更新手続きを行いました。また、上記3事業所と上松ホームにおいて介護保険法第23条の規定に基づく実地指導（上松ホームは老人福祉法第29条9項の規定に基づく実地検査含む）が行われ、すべての事業所において文書による改善指導事項はありませんでした。

(8) 介護職員に対する処遇改善等の実施

介護職員処遇改善加算を原資とし、介護職員に対し毎月支給する介護業務手当及び3月に支給する一時金にて賃金改善を実施しました。

2 経営状況の概要

各事業の利用率等は、特別養護老人ホーム富竹の里が94.2%、特別養護老人ホーム富竹の里和みが98.9%、富竹の里ショートステイホームは76.1%、富竹の里デイサービスセンターは77%、富竹の里ホームヘルプセンターは介護保険事業（介護予防・総合事業含む）が3,897時間49分、障害者総合支援法による障害福祉サービスが1,074時間30分、介護付有料老人ホーム上松ホームは94.6%でした。また、富竹の里デイサービスセンターが実施する通所型基準緩和サービスは44.5%でした。

3 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催

開催年月日	場所	出席者	審議事項
平成29年5月27日 第110回 理事会	富竹の里 会議室	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任及び選任候補者推薦書について ・新役員候補者の推薦案について ・平成28年度事業報告について ・平成28年度決算の承認について ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について ・事業報告計算書類等の監査結果報告
平成29年5月27日 第2回評議員選任解任委員会	富竹の里 会議室	外部委員1名 監事1名 事務局員1名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について
平成29年6月17日 定時評議員会	富竹の里い きいきセン ター	評議員9名 理事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度決算の承認 ・役員の選任 ・第2回評議員選任解任委員会の結果報告 ・平成28年度事業報告
平成29年6月17日 第111回 理事会	富竹の里 会議室	理事7名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定について ・常務理事の選定について ・特養多床室のプライバシー保護等改修工事について ・第2回評議員選任解任委員会の結果報告 ・定時評議員会の結果報告
平成29年9月30日 第112回 理事会	富竹の里 会議室	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の職務執行状況について ・特養富竹の里多床室プライバシー保護改修工事について

			<ul style="list-style-type: none"> ・特養富竹の里大規模改修工事について ・工事請負契約の締結について ・職員就業規則の一部変更について
平成 29 年 10 月 27 日 113 回 理事会	書面決議	理事 8 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約の締結について
平成 29 年 11 月 20 日 114 回 理事会	書面決議	理事 7 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約の締結について
平成 30 年 3 月 17 日 第 115 回 理事会	富竹の里 会議室	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 3 月補正予算書について ・平成 30 年度事業計画書（案）について ・平成 30 年度当初予算書（案）について ・平成 29 年度臨時評議員会に提出する定款の一部変更案の承認について ・平成 29 年度臨時評議員会の開催について ・定款施行細則の一部変更について ・通所介護事業に関する運営規程富竹の里デイサービスセンターの一部変更について ・介護予防通所介護、第 1 号通所事業に関する運営規程の一部変更について ・介護予防訪問介護、第 1 号訪問事業に関する運営規程の一部変更について ・地域密着型特定施設入居者生活介護に関する運営規程の一部変更について ・育児介護休業等に関する規程について ・嘱託及び短時間勤務等職員の就業規則の一部変更について

4 寄付金報告

退所された特養のご利用者ご家族 2 名の方から、総額 23 万円のご寄付を頂戴しました。

5 各事業所の運営状況報告

(1) 特別養護老人ホーム富竹の里、富竹の里ショートステイホーム

ご利用者の重度化も進み、前年度の倍以上となる 18 名の方が退所されました。入所待機者人数は減少傾向にありスムーズな入所に繋げることが出来ず、空床が目立ちました。

退所された方のうち、半数以上の方が施設内での看取りを希望され支援させていただきました。嘱託医や看護師との連携もあり、お一人おひとりの状況に合わせた支援が実践できました。

ショートステイについては、23 名の方と新規契約を締結しました。尿カテーテルや喀痰吸引等医療行為を必要とされる方のご利用希望が多くありました。定期利用者の重度化や体調変化により入院や他事業所への利用変更があり利用率は低下傾向になりました。

ご利用者状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

[人数等]

男	女	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢	最長入所	平均入所
9 人	38 人	47 人	100 歳	66 歳	88.5 歳	26 年	3 年 3 か月

[介護度]

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
0人	0人	6人	25人	16人	47人	4.2

[富竹の里 延べ利用人数、一日平均、稼働率]

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	一日平均	稼働率
0人	214人	3,783人	7,238人	5,274人	16,509人	45.2人	94.2%

[富竹の里ショートステイホーム 延べ利用人数、一日平均、稼働率]

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	一日平均	稼働率
18人	66人	675人	987人	762人	896人	1,041人	4,445人	12.2人	76.1%

(2) 特別養護老人ホーム富竹の里和み

平成29年度は、2名の方が看取りにて退所されましたが、前年度に比べ入退所人数、入退院日数が少ない状況でした。ご利用者の重度化や看取りをご希望される方が増加する中で、できる限り自分らしい生活の継続ができるようユニットリーダーと介護支援専門員が連携し、できないことからできることに着目した支援を継続して実施しました。

6回の運営推進会議を開催し、長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に対し、提供しているサービス内容等の説明や地域との連携強化について話し合い、地域に開かれたサービス提供とその質の向上を図りました。

医療行為を必要とされる方へ安全で安心したサービスが提供できるよう喀痰吸引等研修に1名の介護職員が参加し、認定証を取得しました。

ご利用者状況（平成30年3月31日現在）

[人数等]

男	女	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢	最長入所	平均入所
3人	17人	20人	99歳	67歳	88.8歳	12年	4年8か月

[介護度]

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
0人	0人	6人	10人	4人	20人	3.9

[延べ利用人数、一日平均、稼働率]

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	一日平均	稼働率
0人	0人	1,915人	3,550人	1,756人	7,221人	19.8人	98.9%

(3) 介護付有料老人ホーム 上松ホーム

今年度もご利用者が、できる限り自立した日常生活を送ることが出来るように、日常生活の中で自然な形で、機能訓練を行うことが出来ました。合わせて心のケアも行う中で、認知症介護の難しさも実感しながら過ごした1年でした。

介護職員の、介護福祉士保有率も7割を超え、今年度よりサービス提供体制強化加算（I）イ（介

護職員のうち介護福祉士の数が60%以上の場合に加算されます)の算定が可能となりました。

6回の運営推進会議を開催し、長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に対し、提供しているサービス内容等の説明や地域との連携強化について話し合い、地域に開かれたサービス提供とその質の向上を図りました。

ご利用者状況(平成30年3月31日現在)

[人数等]

男	女	合計	最高年齢	最低年齢	平均年齢	最長入居期間	平均入居期間
2人	20人	22人	98歳	79歳	88.9歳	9.3年	3.7年

[介護度]

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
5人	2人	4人	7人	4人	22人	3.09

[延べ利用人数、一日平均、稼働率]

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	一日平均	稼働率
2,826人	549人	1,514人	2,199人	1,206人	8,294人	22.7人	94.6%

(4) 富竹の里デイサービスセンター

平成29年1月10日より、通所型基準緩和サービス「いきいきクラブ」を火・金曜日の午前15名定員で開設、平成29年4月より月～金曜日の午後送迎付き15名定員で開設し対応しました。緩和サービスは6か月での卒業を目標としているため、ご本人が希望しても継続が難しく、介護保険以外でもサービスを希望される方3名が自費サービスを利用しました。

通所サービス、相当サービス、緩和サービスの利用者の状況を担当ケアマネジャーに報告できるよう書類整備に努め、空き状況をお伝えできるよう対応しました。

[通所介護・介護予防通所介護(相当サービス含む) 延べ利用人数、一日平均、稼働率]

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
24人	248人	1,093人	2,993人	2,449人	1,369人	856人	686人	9,718人
一日平均	稼働率							
26.8人	77%							

[通所型基準緩和サービス(自費含む) 延べ利用人数、一コマ平均、稼働率]

事業対象者	要支援1	要支援2	非該当	一コマ平均	稼働率
1,695人	157人	70人	79人	5.9	39%

(5) 富竹の里ホームヘルプセンター

高齢者のほか、障がい者の方一人ひとりの在宅生活に寄り添い、安心して楽しく健康的に過ごせるようサービスを提供しました。また、ご利用者やご家族の悩みや介護の相談などにもしっかりと耳を傾け家庭や地域・サービス事業者と連携を図り、満足と信頼を頂けるよう努めました。

各事業の延べ利用回数、時間数

[訪問介護・介護予防訪問介護（相当サービス含む）]

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
回数	7回	250回	581回	503回	1,345回	52回	1,270回	64回	4,072回
時間:分	7:00	250:00	577:30	496:30	1,359:19	49:30	1,120:10	54:30	3,914:49

[障がい者総合支援法による障がい福祉サービス]

回数	1,396回
時間:分	1,074:30

[移動支援事業]

回数	0回
時間:分	0:00

[自費サービス事業]

回数	34回
時間:分	53:00

(6) 光仁会富竹の里介護支援センター

平成29年度は、37名の方が契約終了となりましたが、病院からターミナルケアの方の相談も増えており、自宅での看取りを希望され、退院後短い期間の関わりで終了となるケースが3件ありました。地域に新しく小規模多機能居宅介護事業所が2ヶ所できたため、小規模多機能へ移行された方が2名いました。

新規の依頼は、地域包括支援センターからの相談が最も多く、申請中の段階から地域包括支援センターと共に相談援助にあたるケースもありました。病院からの相談は、退院までの期間が短く迅速な対応が必要なケースが多くなっています。ご利用者の入院時には積極的に医療機関への訪問を行い、退院に向けて連携をはかり、スムーズに在宅生活への移行が行えるよう支援を行いました。

認知症の一人暮らしの方、夫婦二人暮らしで共に認知症のケースなど、介護保険サービスだけでなくインフォーマルサービスや地域の方の理解や連携が必要となるケースも増えています。

ご利用者の尊厳を守り、在宅での生活が継続できるよう、自立支援に向けた居宅サービス計画書の作成、相談援助が適切に行えるよう、介護支援専門員一人ひとりの資質向上を目指し、研修会等への参加も積極的に行いました。

[ケアプラン作成件数]

項目	件数
介護給付数	延べ1,544件
介護予防給付数	延べ59件
介護予防ケアマネジメント(総合事業)	延べ24件
新規利用 (介護)	35件
(介護予防)	6件
(介護予防ケアマネジメント)	4件
入院時連携加算	55回
退院、退所加算	34回
契約終了	37件

(契約終了内訳)

死亡16名、特養入所6名、介護付き有料老人ホーム入所5名、グループホーム入所2名、小規模多機能移行2名、他事業所へ変更3名、予防給付移行3名

(7) 長野市地域包括支援センター富竹の里

管内の古里・柳原・長沼地区は、総人口22,973人、高齢者人口6,865人、高齢化率平均32.8%（平成30年3月末現在）で、高齢者人口増加、高齢化率上昇傾向にあります。

こうした状況の中、地域包括支援センターでは日々様々な相談が寄せられ、その相談内容に対応するため、センターに配置されている専門職の専門性を生かし、また課題やニーズが複雑化している相談に対し多職種で情報共有し対応を行いました。

また地域包括支援センターだけでは対応が難しい相談内容については、行政機関、専門機関等と連携を図り「個別ケア会議」を開催し、情報共有・役割分担の明確化を行いました。

総合相談の中で認知症相談が増加傾向の現状があり、認知症地域支援推進員を配置して業務の充実を図っています。認知症サポーター養成講座や認知症カフェへ参加し、認知症状の基礎知識の普及に努めています。今年度は東北中学3年生の地域活動時にサポーター講座を受けていただき認知症を知る機会としてもらいました。

平成28年10月より長野市において介護予防・日常生活支援総合事業がスタートしており制度移行に伴い、地域住民、民生委員、ケアマネジャー等へ新しい制度について理解を深めてもらうため会議等で制度内容、利用方法、サービス内容について説明を引き続き行いました。

当センター管内では要支援認定者310人のうち、80%の248人（平成30年3月実績）が介護予防サービス・総合事業サービスを利用、前年度に比べサービス利用量は変化ありません。しかし、今後は利用者の増加があるため利用者の希望を踏まえ、地域包括支援センターによる適切なアセスメント・課題分析による適正なサービス利用選択が求められています。

事業運営の実績

[相談受付件数]（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	来所	電話	訪問	その他	合計
勤務時間内	71	317	125	33	546
時間外	0	1	0	0	1
ケアマネ相談	8	33	8	4	53
合計	79	351	133	37	600

[相談内容件数]

相談内容	延べ件数
介護保険関係	319件
その他在宅福祉サービス	65件
施設、住まいに関すること	56件
医療に関すること	36件
高齢者虐待	2件
成年後見制度	9件
苦情対応調整	2件

消費者被害	2件
その他	109件
合 計	600件

[高齢者実態把握関係] (訪問等の方法により高齢者の実態把握を行い、高齢者相談支援台帳を整備)
 高齢者実態把握高齢者相談支援台帳作成件数 (延べ79件)

[個別地域ケア会議開催状況]

計14回(地域包括支援センター主催分、対応困難事例対応)

[介護者教室・介護予防教室]

実施月	内 容	講 師	参加人数
11月	介護者教室「知って防ごう！詐欺被害 消費者出前講座」	弁護士会消費者対策委員会 中嶋慎治法律事務所 中嶋慎治弁護士 他2名	29名
3月	介護者教室「くすりを正しく服用していますか～お薬と上手に付き合うためのコツ～」	長野市薬剤師会医薬分業推進支援センター長野薬局 中山 智子 氏	12名
6月 ～ 10月	介護予防教室「体力・脳力アップ楽々体操講座」 (定員70名・全9回シリーズ)	フィットネスサポートセンター 健康運動指導士 三浦 弘 氏	(延べ) 592名 (平均) 65名
合 計 (11回実施)			633名

[主な会議・研修会への出席・開催・職員派遣状況]

会議名・研修会名	回数
民生委員定例会(地区ケア会議)への出席(古里・長沼・柳原地区 月1回)	36回
長野市東北3地区地域ケア会議ネットワーク会議(2月)	1回
管内(古里・柳原・長沼地区)ケアマネジャー連絡会開催(7月・8月・12月・3月)	4回
専門職部会(看護師3回・主任ケアマネ4回・社会福祉士4回)への出席	11回
長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会への出席(社会福祉士)	2回
地域密着型サービス運営調整会議への出席(計11事業所) (ケアライフ柳原・柳原ふれあい荘・グループホーム太陽・グループホームフランセーズ悠柳原・グループホームながぬま・特別養護老人ホーム富竹の里和み、デイサービスねむの木、エフビー柳原デイサービス、デイサービスふらっと柳原、デイサービスながぬま、デイサービス柳原)	41回
柳原地区ふくし相談会ネットワーク会議への出席(柳原地区住民自治協主催)	4回
認知症カフェ「オレンジカフェどんぐり」職員派遣(柳原地区住民自治協主催)	12回
柳原地区「介護者のつどい」職員派遣10月、2月(柳原地区住民自治協主催)	2回
長沼地区「認知症サポーター講座」職員派遣6月(長沼地区住民自治協主催)	1回
津野区「お茶のみサロン」職員派遣2月(長沼地区住民自治協主催)	1回

赤沼区北町自主グループ「赤沼北町はつらつクラブ」職員派遣 5月	1回
NPO 法人ホットラインながの「私たち高齢者はどのようにして住み慣れた地域で生活していったらいいのか」職員派遣 9月、2月（三才地区）	2名
西三才地区老人クラブ若竹会「老後の施設の説明等」職員派遣 5月	1回
東富竹地区「お茶のみサロン」職員派遣 8月	1回
古里地区住民自治協議会「介護のつどい」職員派遣 8月	1回
長沼地区「介護者のつどい」職員派遣 9月	1回
柳原住民自治協議会「学習会」職員派遣 1月	1回
長沼地区「ふれあい交流会」職員派遣 2月	1回
長沼地区福祉推進員研修会「サポーター講座」職員 2名派遣 6月	1回
長沼地区自主グループ立ち上げについて 職員 4名派遣 1～3月	8回

[指定介護予防支援実績（4月～3月）・総合事業支援実績（4月～3月）]

予防給付ケアプラン作成数（延べ数）	新規（自センター分）	延べ 31 件
	継続（更新認定）分	延べ 92 件
総合事業ケアプラン作成数（延べ数）	新規（自センター分）	延べ 35 件
	継続（更新認定）分	延べ 92 件
総合事業基本チェックリスト実施数	事業対象者該当分	延べ 30 件
	事業対象者非該当分	延べ 2 件

[介護予防支援実績（4月～3月）・総合事業支援費請求実績（4月～3月）]

介護予防支援請求件数	包括センター作成分	延べ 1,170 件
	委託ケアマネ作成分	延べ 313 件
総合事業支援請求件数	包括センター作成分	延べ 1,230 件
	委託ケアマネ作成分	延べ 220 件